

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>統合中学校が整備される予定の現豊原小周辺は国道が狭く、歩道がない部分もあることから、歩行者が車道にはみ出しながら通行しなければならないような箇所もある。学校再編にあたって、道路を拡幅して歩道を整備するなどの対応を行うのか？</p>	<p>今のところ、豊原小の位置を基本に東側の用地を確保し、拡張した上で学校を新設しよう考えている。ただし、現在の計画は案の段階であるため、用地確保が上手くいかないようであれば、豊原校区内の近辺に変更する可能性もある。その中で、学校へのアクセスをどのように整備するかについては今後検討を進めたい。また、通学路整備については、それぞれの道路管理者と協議を行う。ただ、すぐに歩道を作る、また道路拡幅を行うという対応は難しい。安全確保についてはきちんと協議をしていきたい。</p>
	<p>義務教育学校に魅力を感じるが、旧大和町地区で義務教育学校を作るという案はないのか？</p>	<p>まず、現在、義務教育学校への再編を計画している蒲池・昭代校区は、他の校区と組み合わせが難しい地理条件である。また、小学校と中学校が隣接しており、義務教育学校として再編する際は、施設の改修で対応が可能である。これらの条件から、両校区に義務教育学校を取り入れることにした。対して、旧大和町地区は、義務教育学校としては、学校規模がやや過大であること、また、現大和中を義務教育学校として整備する場合に小学校部分の用地確保が問題となるため、現三橋中との統合により学校規模を適正化する案を策定している。</p>
	<p>少子化が更に進行した場合、旧大和町地区における義務教育学校も検討されることになるか？</p>	<p>可能性はあるが、今回の計画案での再編により、当分の間は1学年3クラスを維持できる推計である。</p>
2	<p>旧大和町地区は過疎指定を受けている。学校の統廃合は更なる過疎化を招くのではないのか？</p>	<p>今求められているのは、複式学級のある学校より、充実した教育を受けることができる学校であると考えている。過疎対策と学校再編の関係について、教育委員会としては、ある程度の学校規模を確保し、充実した教育環境を整えることで、市内外の方から選んで頂けるような学校を作るという形で貢献したい。地域から小学校という核がなくなることによる人口流出の懸念や寂寥感は、もちろん十分理解できる。魅力ある学校を作ることで応えていきたい。</p>
	<p>スクールバスについて、1年生から6年生までで授業時間が違うが、下校時の運行方法はどのようなのか？</p>	<p>スクールバスの運行方法について、詳細は再編協議会(仮称)で決めていただくことになる。例えば、2km超でスクールバス等という通学方法についても、低学年と高学年で適宜変えることも可能である。また、下校時間が異なる点については、帰りのバスの本数を増やす等の対応が考えられる。他に、バス通学だと子どもの体力面が不安であるという意見が強い場合は、学校から少し離れた安全な場所で降ろし、そこから集団登校させるという対応も可能性としてはある。いずれにせよ地域の実情に即した運行方法を再編協議会(仮称)にて検討する必要がある。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
3	良い方向へ話が進んでいると思うが、現在でも学校によって学力が異なる実態があるかと思う。再編統合による学力への影響は？	再編後、子ども1人1人がきちんと学力を付けていけるかというご質問だと思う。例えば、少人数学級であれば、教員が子どもに細かく関与しながらの学習が可能である。しかしながら、子どもの人数が増えるとそれが疎かになるとは一概には言えない。小規模校では、学力が十分に定着した子どもと、不十分な子ども、まとめて1人の教員が指導することになる。適正な規模の学校では、子どもの数と共に教員の数が増えることで、クラスを習熟度別に分けて指導する形も採れるようになる。これにより、教員が効率的に指導できるようになり、学力の向上にも繋がると見込んでいる。
4	スクールバスでの通学において、中島小付近は大型車両が通行できない箇所がある。また、バスを道路上に停車させて乗降させる場合は渋滞が予想される。更に、2、3年前から道路舗装の改善を要望しているが不十分な状態である。このような状況の中、再編協議の期間も短いため、再編は難しいのではないか？	スクールバスについては、大型バスでの運行は考えていない。乗車人数が多くなれば、所要時間が長くなり、学校や停留所等での停車にも支障が生じる。基本的には安全面を考慮して、学校の中に乗り入れたいが、児童の体力面を考えて少し離れた場所にバスを停めて、そこから集団登校させることも可能性としては考えられる。また、学校周辺の安全確保については、統合するにあたり整備を行う予定である。まずは、外側線やグリーンベルト等による対応を検討したい。
5	(仮称)柳城小と(仮称)柳南小の開校時点の生徒数はどのくらいか？	まず(仮称)柳城小について、現時点で統合した場合、560人の19クラス。現在の1歳児が小学校に入学する令和10年度時点で、461人の16クラス。これは全員が普通学級に入ったと仮定したクラス数。次に、(仮称)柳南小については、現時点で344人の12クラス。令和10年度時点で210人の8クラスである。
	(仮称)柳南小は規模が小さめであるが、(仮称)柳城小と(仮称)柳南小に分ける理由は、校区が広いためか？	その通りである。また、(仮称)柳城小と(仮称)柳南小を統合する場合、既存施設では収容できないことも理由である。将来的に更に児童生徒数が減った場合、計画の途中で見直しを行う必要が出てくる可能性もある。その場合は学校の場所をどこにするかという大きな課題が出てくると思われる。